

埼玉県児玉郡神川町 (有)大畠畜産

夫婦で育てた豚を妻が人気ブランドに

代表者名	大畠 永行
設立年	1989年3月8日
事業内容	生産(養豚)、消費者直売、観光・交流
経営規模	畑 4ha、施設 9,000 m ² 、加工場 30 m ² 、 畜舎 3,600 m ² 、母豚 100 頭
資本金	8 百万円
売上	82 百万円(2015 年 2 月期)
従事者数	2 人(女性 1 人)



□女性活躍のポイント

- ゼロから始めた養豚経営の全てを妻と夫の二人で決定、「イコールパートナー」意識が明確な一戸一法人経営。
- 家族経営協定を締結し、二人の作業役割分担などを明確化。
- 元金融機関に勤めていた妻の大畠眞由美氏が豚を母親感覚で飼育する姿から、眞由美氏を農場長と経理担当部長に任命。夫の大畠永行氏は豚の育成に専念。
- 眞由美氏の発意で始めた独自ブランドの「姫豚」が、眞由美氏自身の営業努力で地方のレストラン等消費者の評価を得て安定的な需要を確保し、人気上昇。また、直接販売の拠点として「姫豚工房」を開業。定期宅配、贈答用に販路が拡大中。
- 眞由美氏は地元の農業女性会議所の会員、農業委員、小学校での食育活動、全国畜産会の理事等、女性農業経営者として活躍。永行氏が妻の活動を理解し、それを支援。